

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

S

# 数 学

## ② (別冊)

簿記・会計  
情報関係基礎  
工業数理基礎

(100点)  
(60分)

### I 注 意 事 項

- 1 解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。特に、解答用紙の解答科目欄にマークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。
- 2 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出 題 科 目	ペ ー ジ	選 択 方 法
簿 記 ・ 会 計	4～22	左の3科目のうちから1科目を選択し、解答しなさい。なお、新教育課程履修者*は工業数理基礎を選択できません。
情報関係基礎	23～45	
工業数理基礎	46～57	

\* 新教育課程履修者とは、高等学校(特別支援学校の高等部を含む)に平成25年4月に入学し、平成28年3月に卒業見込みの者又は中等教育学校の後期課程に平成25年4月に進級し、平成28年3月に卒業見込みの者

- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。
- 4 選択問題については、いずれか1問を選択し、その問題番号の解答欄に解答しなさい。
- 5 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 6 不正行為について
  - ① 不正行為に対しては厳正に対処します。
  - ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者がカードを用いて注意します。
  - ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ退室させます。
- 7 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

### II 解 答 上 の 注 意

- 1 解答は、解答用紙の問題番号に対応した解答欄にマークしなさい。例えば、第2問の **ア** と表示のある問いに対して ③ と解答する場合は、次の例のように問題番号 **2** の解答記号 **ア** の解答欄の ③ にマークしなさい。

例 1

2	解 答 欄														
	—	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d
ア	⊖	⊙	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ

解答上の注意は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。

2 問題の文中の  ,  などの  に符号(−), 数字(0~9), 又は文字(a~d)を入れるよう指示された場合, 次の方法で解答用紙の指定欄に解答しなさい。

(1) イ, ウ, エ, …の一つ一つは, 符号(−), 数字(0~9), 又は文字(a~d)のいずれか一つに対応します。それらを解答用紙のイ, ウ, エ, …で示された解答欄にマークして答えなさい。

例2  に38と答えたいとき

イ	⊖	0	1	2	●	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d
ウ	⊖	0	1	2	3	4	5	6	7	●	9	a	b	c	d

なお, 同一の問題文中に  ,  などが2度以上現れる場合, 2度目以降は,  ,  のように細字で表記します。

以下の解答上の注意は, 工業数理基礎を受験する者への注意です。(簿記・会計, 情報関係基礎の受験者には必要ありません。)

(2) 分数形で解答する場合, 分数の符号は分子につけ, 分母につけてはいけません。

例えば, 

エオ
カ

 に  $-\frac{4}{5}$  と答えたいときは,  $\frac{-4}{5}$  として答えなさい。

また, それ以上約分できない形で答えなさい。

例えば,  $\frac{3}{4}$ ,  $\frac{2a+1}{3}$  と答えるところを,  $\frac{6}{8}$ ,  $\frac{4a+2}{6}$  のように答えてはいけません。

(3) 数値で解答する場合, 求められている数値の最後の桁の次の桁を四捨五入して解答しなさい。なお, 日本工業規格(JIS)による数値の丸め方に従って解答してもよい。

ただし, 解答した数値を以後の計算に再度利用する場合には, 四捨五入する前又は日本工業規格(JIS)により丸める前の数値を使いなさい。